

A decorative bar chart on the left side of the slide, composed of numerous vertical bars of varying heights, colored in shades of blue. The bars are arranged in a way that suggests a descending trend from left to right, with a slight increase in the middle section.

RPA取り組みのご紹介

2020年2月13日

株式会社 B C C

- 1. 会社概要**
- 2. 事例紹介**
- 3. RPA導入時の課題と対策**
- 4. 最後に**

1. 会社概要



RKB毎日放送(株)と日本電気(株)の出資により昭和41年10月に福岡で誕生し、以来53年の歴史を重ねてきた福岡地場IT企業です。

これまで培ってきた知識とノウハウを武器に、官公庁・民間企業・医療といった幅広い分野のお客様が抱えている様々なIT問題に対して、コンサルティングからシステムの開発・運用・保守にいたるまでトータルにサポートしています。

令和元年12月末現在

① 社名	株式会社BCC		
② 設立年月日	昭和41年10月25日（1966年）		
③ 代表者氏名	代表取締役社長 田中 功（たなか いさお）		
③ 所在地	<ul style="list-style-type: none">●本社 福岡市中央区六本松2丁目12-19 BCCビル●薬院ビル 福岡市中央区薬院4丁目5-17●データセンター 福岡市内 及び、国内（複数所有）●東京支店 東京都品川区東五反田2丁目20-4 NMF高輪ビル 6階●北九州支店 北九州市小倉北区鍛冶町1丁目1-1 北九州東洋ビル 3階●佐賀営業所 佐賀市駅前中央1丁目9-45 大樹生命佐賀駅前ビル 7階		
④ 資本金	1億円	⑤ 従業員数	400名（営業職：35名 技術職：315名 事務職：50名）
⑥ 業務内容	<ul style="list-style-type: none">●システムインテグレーション ●ソフトウェア開発 ●情報ネットワークサービス ●AI・BI●セキュリティサービス ●BPOサービス ●クラウドサービス ●システム機器販売		

1. 会社概要

弊社は放送事業を核とし、福岡及び九州地域での貢献を目的に総合事業を行うグループ企業体の一員です

株式会社 B C C
システムインテグレーション
ソフトウェア開発
クラウド・セキュリティサービス

株式会社 R K B 映画社
TV番組・CM
PR／記録映画
Webコンテンツ

**R K B 毎日
ホールディングス**

R K B 毎日放送株式会社
テレビ・ラジオ番組制作・放送
イベント&催事実施・他

R K B ミューズ株式会社
イベント運営・人材派遣業
広告代理店業務
映像制作業務・他

R K B 興発株式会社
災害&イベントFMシステム
ビル管理・不動産管理
不動産仲介・駐車場管理
太陽光発電・他

2. 事例紹介

■ 地方自治体向けシナリオ

No	業務	処理	カテゴリ	状況
1	給与計算	例月処理	定例作業	稼働中 (福岡県A市 H31.3~)
2	介護認定	認定調査票入力	定例作業	稼働中 (長崎県B市 H31.4~)
3	財務会計	歳入情報入力	定例作業	稼働中 (福岡県C町 R01.10~)
4	権利登記	所有権移転入力	大量入力作業	稼働中 (福岡県D市 R01.10~)

■ 企業向けシナリオ

No	業務	処理	カテゴリ	状況
1	勤怠入力	勤怠入力チェック	定例作業	稼働中 (E社 総務 H31.04~)

2. 事例紹介（自治体向けNo. 1）

給与計算の例月処理に関わる一連の作業に、**RPA**を適用

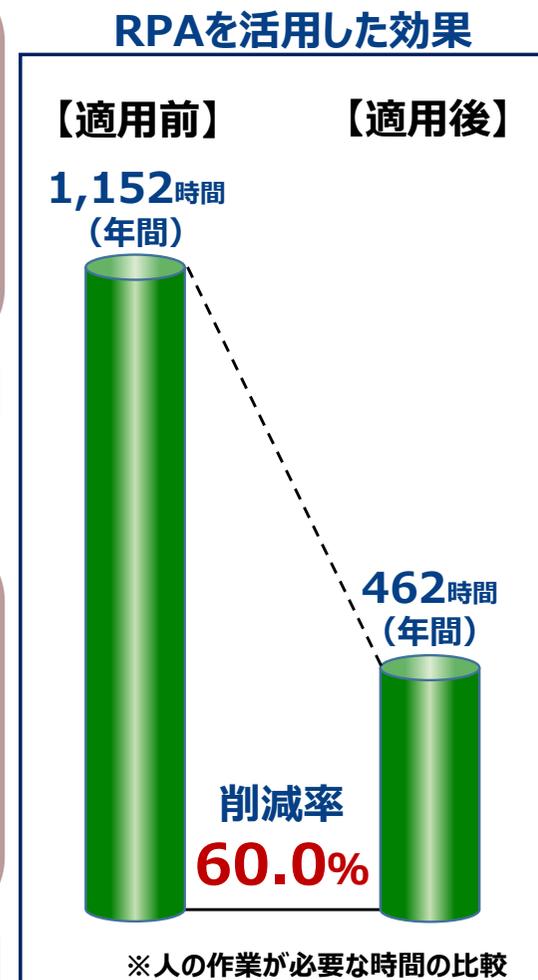
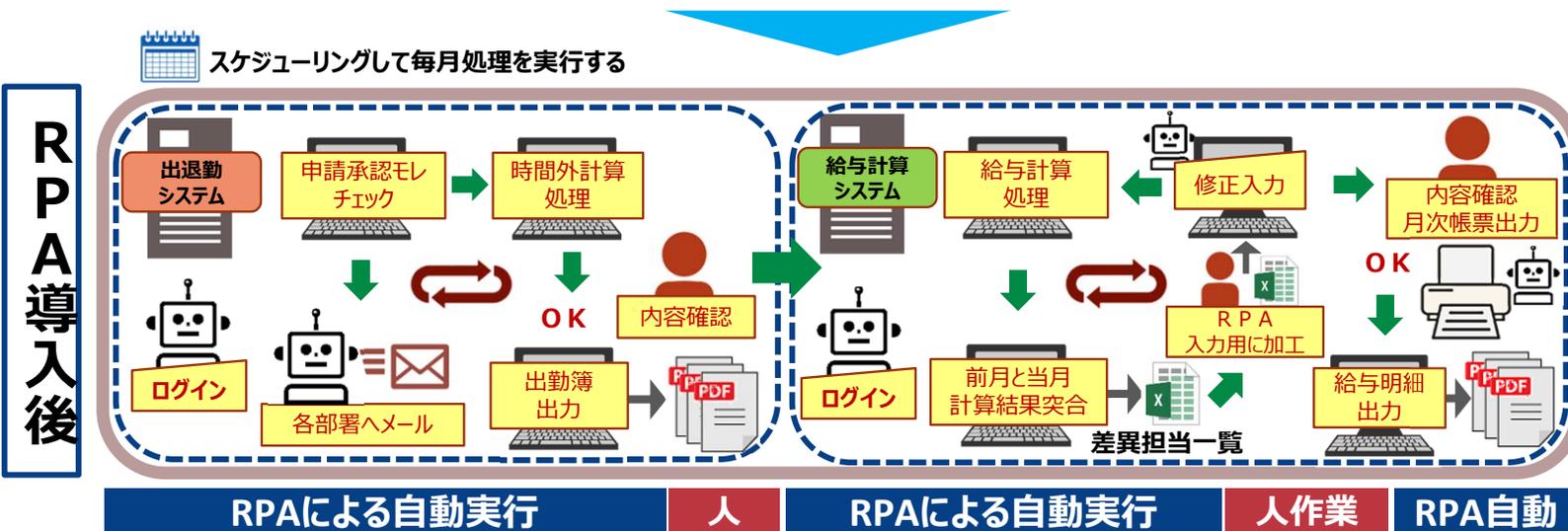
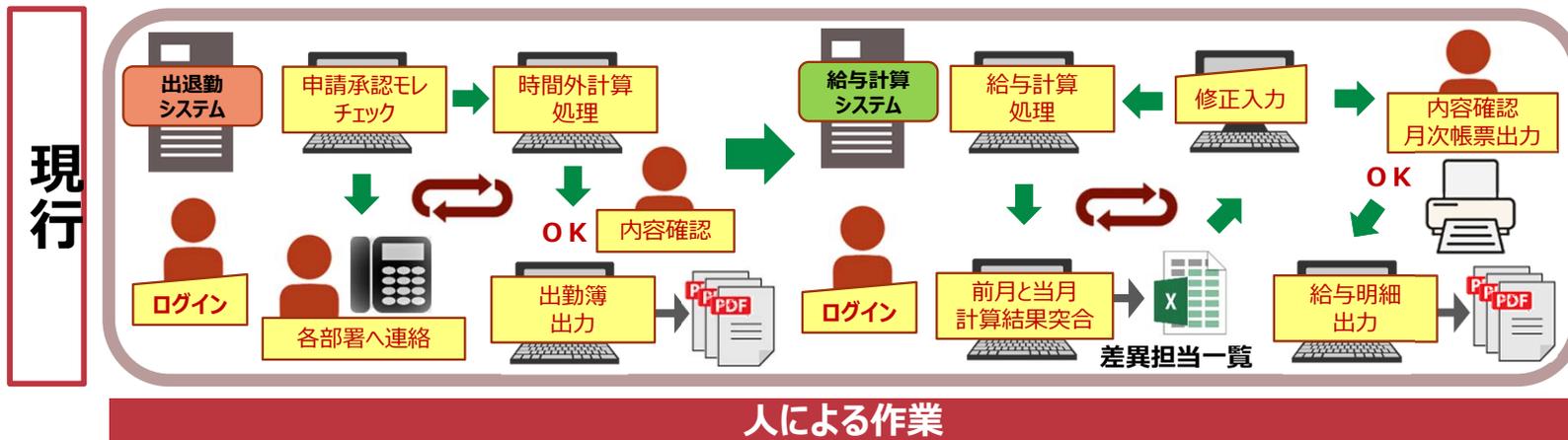
課題背景

- 月締め前のチェックや各部署への連絡、対応待ちに多くの時間を費やしていた
- 繁忙期（月末月初）における、担当者の負担となっている

成果

- **アラートメールの自動配信**
月締め前のチェックや各部署への連絡にRPAを適用したことで、担当者の負担が軽減
- **一連の作業をスケジューリング化**
給与計算に関わる一連の作業（月次処理・帳票配信等）をスケジューリングし、自動化することで処理手順の誤りや漏れを防ぎ、作業時間の短縮ができた

2. 事例紹介 (自治体向けNo. 1)



2. 事例紹介（自治体向けNo. 2）

介護認定調査票の入力作業に、**RPA**を適用

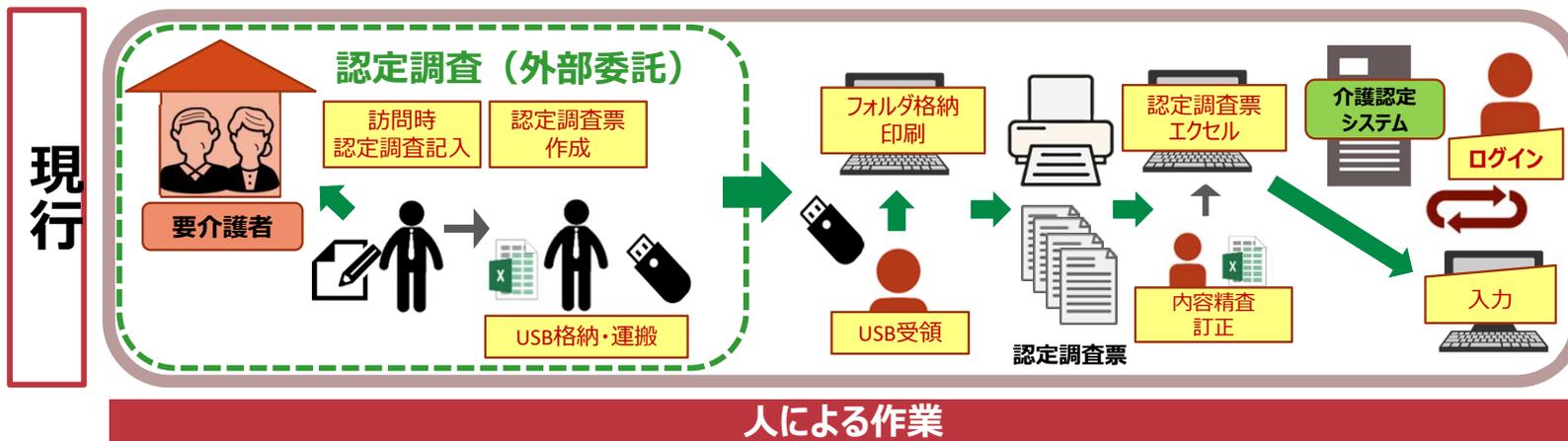
課題背景

- 年間120件程度だが、1件あたりの項目が200項目以上で、入力に約30分ほど費やす
- 項目が多いため、入力漏れや誤字チェックにおける担当者の負担が大きい

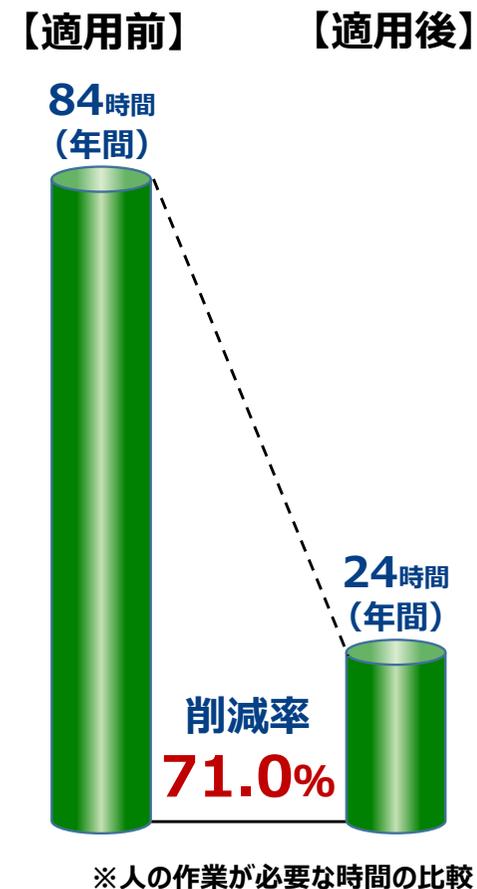
成果

- **介護認定調査票入力のうち、入力作業を自動化**
入力作業にRPAを適用したことで、入力漏れや誤字がなくなり、担当者の負担が軽減

2. 事例紹介（自治体向けNo. 2）



RPAを活用した効果



2. 事例紹介（自治体向けNo.3）

歳入情報の入力作業に、**RPA**を適用

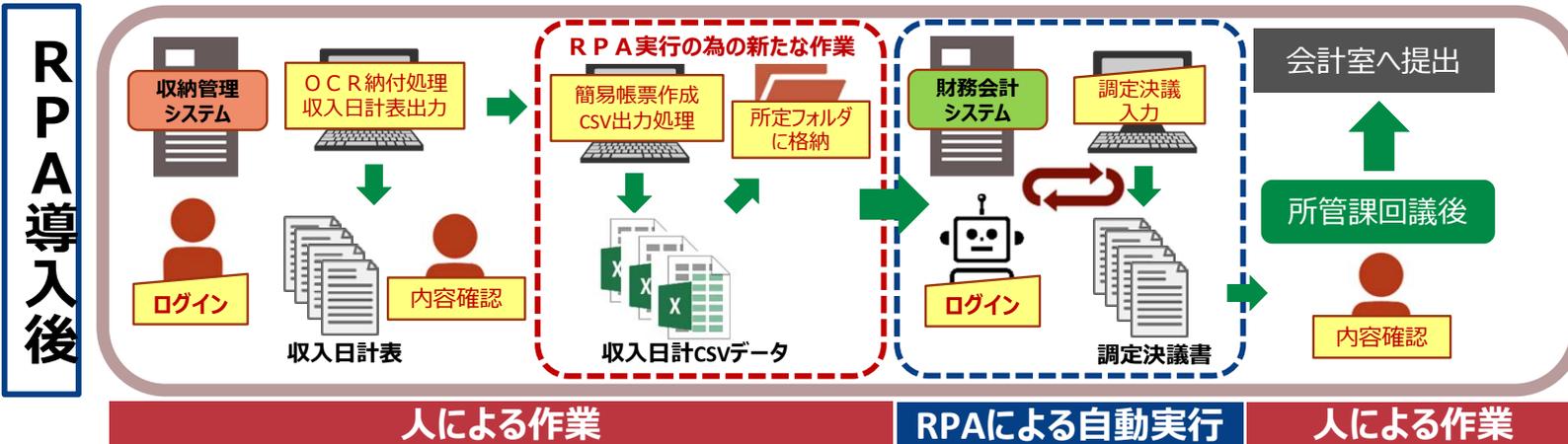
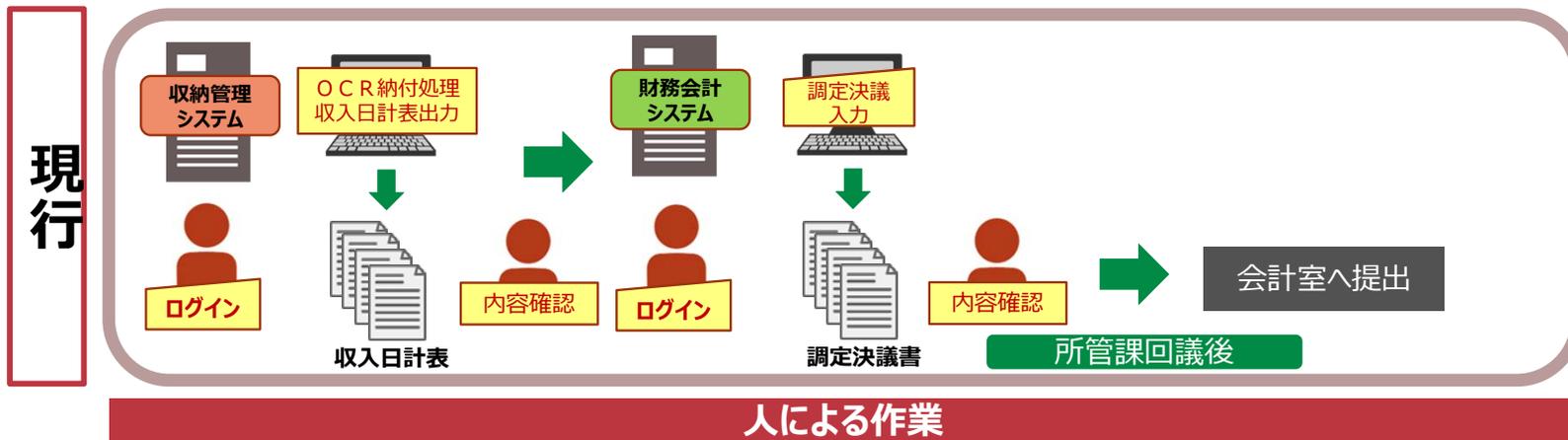
課題背景

- 日々の入力件数は多くないが、財務システムへの歳入情報の入力が煩雑なため、担当者の負担が大きい
- 業務の担当者が歳入情報の入力を日々行っている
（対象業務：住民税、軽自動車税、法人住民税、国民健康保険税、固定資産税、受益者負担金、後期高齢者医療保険料、子ども子育て利用料、住宅家賃利用料、たばこ税、交付金）

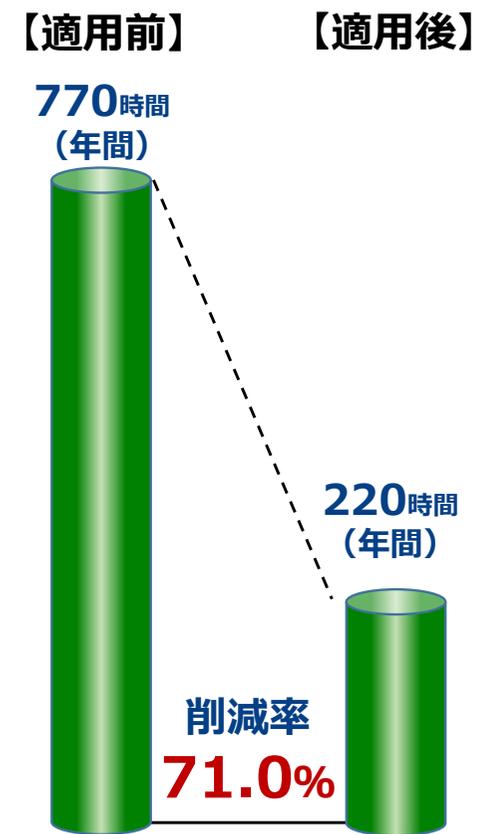
成果

- 歳入情報入力作業のうち、入力作業を自動化
入力作業にRPAを適用したことで、担当者の負担が軽減

2. 事例紹介 (自治体向けNo.3)



RPAを活用した効果



※人の作業が必要な時間の比較

2. 事例紹介（自治体向けNo. 4）

権利登記（所有権移転[単独]）の入力作業に、**RPA**を適用

課題背景

- 年間約80,000件以上と入力件数が多く、権利登記における担当者の負担が大きい

成果

- **所有権移転[単独]の入力作業を自動化**

権利登記のうち、全体の43%を占める所有者移転[単独]の入力作業にRPAを適用したことで、入力における担当者の負担が軽減

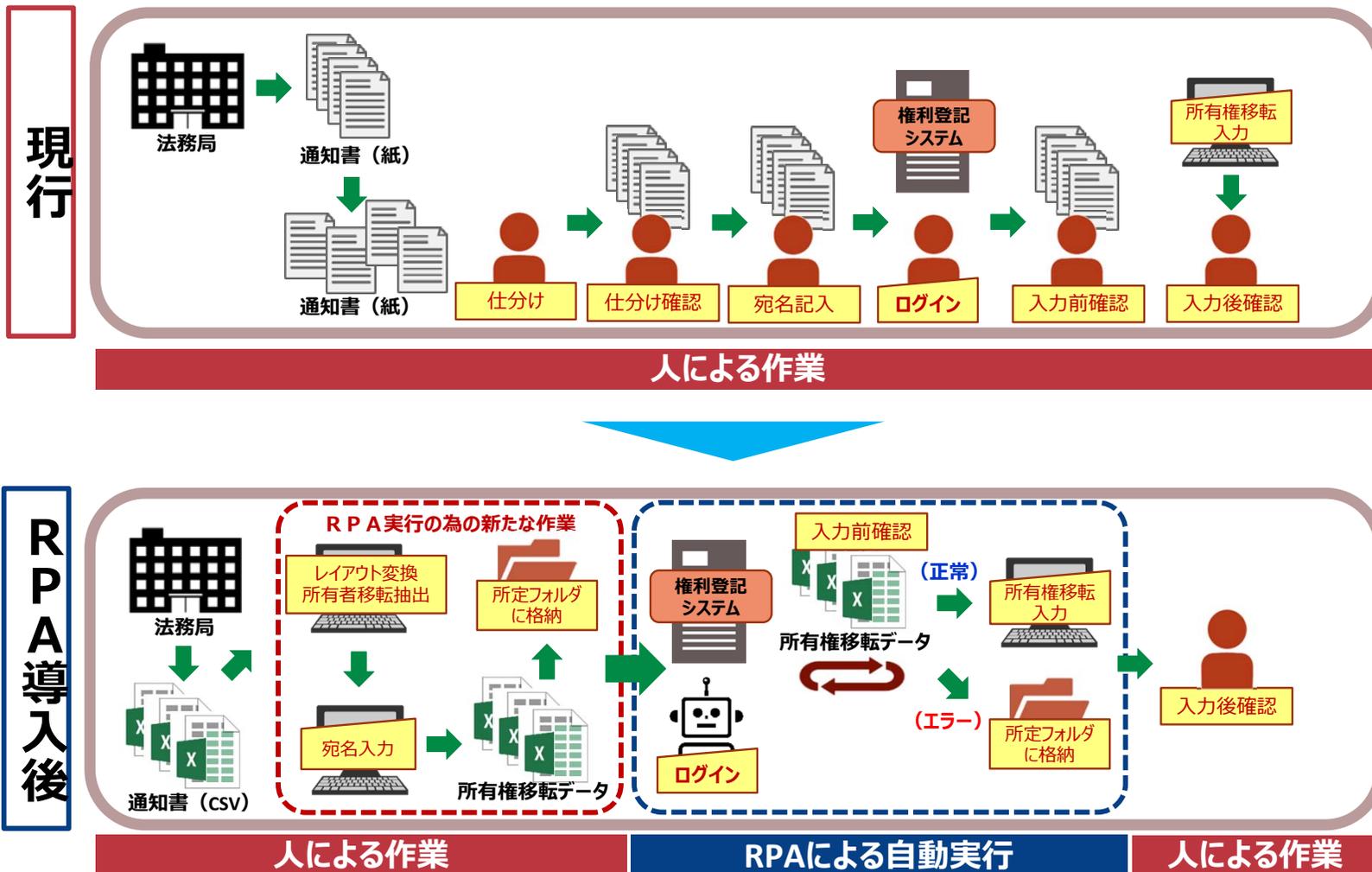
- **定型的なプロセスを改善**

法務局から受領するデータを紙データからCSVデータとしたことで、ツールによる仕分けが可能となり、担当者による仕分け・チェックが不要となった結果、担当者の負担が軽減

- **他の権利登記への転用可能**

今回の成果を受け、所有者移転[単独以外]・登記名義人表示変更においても、削減が期待できる

2. 事例紹介 (自治体向けNo. 4)



2. 事例紹介（企業向けNo. 1）

タイムリーな勤怠情報の見える化に、**RPA**を適用

課題背景

- 従業員の勤怠入力ที่ไม่十分で残業時間の実態が把握できない
- 残業時間や勤怠入力のチェックが頻繁に行えず、月数回の実施

成果

- **メールを自動送付**

勤怠未入力者へ入力を促すメールを自動送付することで、残業時間の適正な把握ができた
従業員には日々勤怠入力の意識が高まった

2. 事例紹介 (企業向けNo. 1)

RPAによる自動化対象



毎日22時に
ロボットが
自動起動



①ワークフロー
(WEBブラウザ)
へ自動ログインし、
勤怠入力情報を取得



②CSV出力



③CSVから
3日以上勤怠が
未入力の従業員
を抽出
(マクロ利用)



④対象従業員へ
メールを送付



従業員



⑤未入力結果を
総務担当へ送付



総務

月3回の実施が、
ロボットにより**日次の実施が可能**

↓
チェック回数が増えることで、
未入力者も減った

RPAを活用した効果

【適用前】

120時間
(年間)



【適用後】

12時間
(年間)



削減率
90.0%

※人の作業が必要な時間の比較

3. RPA導入時の課題と対策



(課題) 導入効果が高い業務の見極め <担当者だけでは、業務選定は難しい>

(対策)

- ➔ 業務スキルを有するSEから、導入効果が見込まれる業務（作業）を提案
- ➔ 提案した業務（作業）について、担当者と作業の流れを確認
- ➔ もっとも導入効果が高いと見込まれる業務（作業）を選定

3. RPA導入時の課題と対策



(課題) 業務プロセスの可視化 <業務の現状を知ることが重要>

(対策)

➔ **業務の棚卸**

- ・単純と思っていた作業に時間がかかっている
- ・類似する作業が何度も発生
- ・このタイミングでの作業の必要性 等

➔ **「気づき」をもとに業務フローの見直し**

- ・人にしかできない作業、RPAでもできる作業
- ・多くの担当者が関わる業務は、業務フローの統一化

3. RPA導入時の課題と対策



(課題) シナリオ作成ができない<現業が多忙、ある程度の知識が必要>

(対策)

➡ **弊社によるシナリオ作成**

- ・SEが作成するため、プロセスの内容を熟知
- ・税制改正や法改正の内容を事前に把握しているため、スムーズな対応

(課題) シナリオが煩雑になりやすい

(対策)

➡ **シナリオをサブルーチン化**

- ・他のシナリオへの流用が可能
- ・少ないステップ数で、シナリオを見やすく

3. RPA導入時の課題と対策



(課題) テストの誤りや漏れを防ぐ

(対策)

➡ RPAの場合、短期での運用開始を目的とすることが多い

- ・SE主導によるテストケースの作成
- ・テストケースをもとにテストデータを担当者と作成

3. RPA導入時の課題と対策



(課題) 環境差異から発生するリスク<PC環境、画面解像度、業務システムURL等>

(対策)

- ➔ **実際の運用PCでの最終確認は必須**
- ➔ **ユーザIDの申請**
 - ・セキュリティ、なりすまし防止の観点から、RPAをひとりの担当者と捉え、業務システムへのログインは、申請したユーザIDで行う

3. RPA導入時の課題と対策



(課題) 運用開始後の想定外エラー

(対策)

↳ RPA専用PCでの運用

- ・RPA運用PCの画面解像度を変更したり、実行中にマウスを触ると画面の項目を正しく認識出来なくなり、処理が止まってしまう

今回のご紹介は、主に「**NEC Software Robot Solution (ロボソル)**」を使用した事例紹介ですが、他のRPAツールにおいても、同じような課題が想定されます。

- 1. 業務の変化に対する不安を払拭**
- 2. 野良ロボ等、稼働後の対策**
- 3. シナリオの他への適用は困難**

